Panasonic

取扱説明書

ロゴ転送ソフトウェア 2.0

Logo Transfer Software 2.0

Windows

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

TQBH9059-J

もくじ

はじめに 2
制約事項 3
登録できるロゴの個数、最大画素サイズ、色数 . . 3
ロゴに使用できるファイル形式 3
コンピューターの設定と操作 3
プロジェクター本体側の操作 3
ソフトウェア使用許諾契約書 4
セキュリティーに関するお願い 5
ソフトウェアのインストールについて 6
動作環境 6
インストールの方法 6
アンインストールの方法 8
ソフトウェアを起動する 8
プロジェクターと接続する 8
シリアル（RS-232C）での接続方法 9
LAN での接続方法 12
ロゴデータの生成方法を選択する 15
ロゴデータの新規作成 16
プロジェクターからロゴデータを読み込む 17
既存のロゴデータを開く 17
ロゴデータを編集する 18
ロゴデータの拡大や編集ができない
プロジェクターの場合 18
ロゴデータの拡大や編集ができる
プロジェクターの場合 21
ロゴデータを転送する 26
ロゴデータを保存する 26
接続先プロジェクターを変更する 27
接続先選択画面 27
ソフトウェアを終了する 28
エラーメッセージ一覧 29
困ったとき 32
商標について 33

はじめに

本書は、ロゴ転送ソフトウェアの取扱説明書です。

本書では作成した図や文字などを総称して「ロゴ」と表現します。

プロジェクターが投写をはじめたとき、信号が入力されていないときなどにロゴを映し出すことができます。

このソフトウェアを用いて、プロジェクターで表示したいロゴをお客様のお好みにあわせてビットマップから自由に作成することができます。

作成したロゴデータは、コンピューターからシリアル（RS-232C）通信または LAN 経由でプロジェクターに転送することができます。

また、プロジェクターにすでに登録されているロゴデータをコンピューターに読み込んで、保存することも可能です。

さらにこのソフトウェアを用いて、ロゴの大きさ、画面上の位置、背景色を自由に設定することもできます。

※ ご使用のプロジェクターにより本ソフトウェアの制約事項が異なります。
詳しくは「対応プロジェクター機種一覧表」*1 をご覧ください。

*1 プロジェクターの付属品に本ソフトウェアの CD-ROM がある場合は、CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。また最新の情報は、弊社 WEB サイト（http://panasonic.biz/projector/）の「対応プロジェクター機種一覧表」を確認してください。

制約事項

登録できるロゴの個数、最大画素サイズ、色数

ご使用のプロジェクターにより本ソフトウェアの制約事項が異なります。
プロジェクターの付属品に本ソフトウェアの CD-ROM がある場合は、CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。また最新の情報は、弊社 WEB サイト（http://panasonic.biz/projector/）の「対応プロジェクター機種一覧表」を確認してください。

ロゴに使用できるファイル形式

ビットマップ形式のみ対象となります。

≪著作権についての注意事項≫

本ソフトウェアにてロゴデータを作る際、ロゴデータに使用するビットマップは、著作権者の許諾を確実に得ていただくようお願いいたします。

著作権法で認められる場合を除き、著作権者の事前の許諾なしに利用することは著作権法で禁止されています。

許諾を得ることなく使用された場合、弊社は一切の責任を負いません。

コンピューターの設定と操作

お使いのコンピューターの電源設定により省電力状態に移行しますとロゴの転送に失敗する場合があります。
本ソフトウェア使用時はあらかじめお使いのコンピューターの電源設定を省電力状態に移行しない状態にしてください。

ロゴ転送中にコンピューターのログオフ、ユーザーの切り替えやシャットダウン等を実行されますとロゴの転送に失敗する場合があります。本ソフトウェア使用時はログオフ、ユーザーの切り替え、シャットダウン等を実施しないでください。

プロジェクター本体側の操作

ロゴ転送中にプロジェクター本体の電源をオンまたはオフにするとロゴの転送に失敗する場合があります。本ソフトウェア使用時はプロジェクター本体の電源操作は行わないでください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアについては､「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容を承諾していただくことが、ご使用の条件になっております。
本ソフトウェアをご使用になった時点で、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意して いただいたものとみなします。

第 1 条 権利
お客様は、本ソフトウェアの使用権を得ることはできますが、著作権もしくは知的財産権がお客様に移転するものではありません。

第 2 条 第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条 コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第 4 条 使用コンピューター
本ソフトウェアは、お客様が所有または管理する複数台のコンピューターにおいて使用することができます。

第 5 条 解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。
お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。
また、解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店、販売代理店等は責任を負いません。

第 6 条 アフターサービス
お客様がご使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。
お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

第 7 条 免責
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第６条のみとさせていただきます。
本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社 および販売店、販売代理店等はその責任を負いません。
なお、弊社プロジェクターの使用を伴わない本ソフトウェアの動作保証は一切行いません。

第 8 条 輸出管理
お客様は、本ソフトウェアを購入した国以外の国に持ち出される場合、その国および関係する各国の輸出管理に関連する法規を順守してください。

以下のことをあらかじめご了承ください。

プロジェクターによるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セキュリティーに関するお願い

本ソフトウェアをご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

・本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
・悪意のある第三者による本製品の不正操作
・悪意のある第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。

・パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
・パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
・パスワードは定期的に変更してください。
・パナソニック株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
・ファイアウォールなどで安全性の確保されたネットワークでご使用ください。

お知らせ

プロジェクターによっては無線 LAN で接続することができますが、本ソフトウェアを無線 LAN 環境で使用することはお勧めしません。

無線 LAN で接続した場合、セキュリティーや LAN の環境に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェアのインストールについて

動作環境

OS

Microsoft Windows XP	Professional (32bit 版), Home Edition (32bit 版)
Windows Vista	Ultimate (32bit/64bit 版), Business (32bit/64bit 版), Home Premium (32bit/64bit 版), Home Basic (32bit/64bit 版)
Windows 7	Ultimate (32bit/64bit版), Professional (32bit/64bit版), Home Premium (32bit/64bit 版)
Windows 8	Windows 8 (32bit/64bit 版), Windows 8 Pro (32bit/64bit 版)

- 上記 OS の日本語版、英語版、中国語版に対応。
- Microsoft Windows XP は SP2 および SP3 に対応。
- Microsoft Windows Vista は SP2 まで対応。
- Microsoft Windows 7 は SP1 まで対応。

その他

- CPU/RAM は、Microsoft 社の各 OS のシステム要件を満たしてください。
- 画面の解像度は、XGA 以上、画面の色数は 16bit 以上でご利用ください。
- シリアル端子もしくは LAN 端子のいずれかが必要です。

お知らせ

- コンピューターのディスプレイの設定を 100 % にしてご使用ください。表示が崩れる場合があります。
- 上記システム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の動作保証は一切いたしません。

上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

※ 本書で使用している画面イメージは、予告なく変更される場合があります。

インストールの方法

1. 本ソフトウェアが収録されている CD-ROM を用いてインストールする場合

アプリケーションランチャーを起動しロゴ転送ソフトウェアの［インストールする］をクリックするとインストーラーが起動します。

WEB からダウンロードしたファイルを用いてインストールする場合

WEB からダウンロードしたファイルを解凍します。
解凍して作成されたフォルダー内の、[Setup.exe] をダブルクリックするとインストーラーが起動します。

画面の指示に従ってインストールを行ってください。

2. インストールが完了するとデスクトップにショートカットが作成されます。

お知らせ

- 本ソフトウェアが収録されている CD-ROM を CD ドライブに挿入すると自動的にアプリケーションランチャーが起動します。起動しないときは CD-ROM 内の [Launcher.exe] をダブルクリックします。
- 本ソフトウェアが収録されている CD-ROM を用いてインストールをするとき、自動再生の画面が表示された場合は、[Launcher.exe の実行] を選択してください。
- すでに同じバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、「修復」もしくは「削除」の選択画面が表示されます。
- 本ソフトウェアをアンインストールする場合は「削除」を、不具合を修復する場合は「修復」を選択し、画面の指示に従って対応してください。

- 「修復」を選択したとき、「ディスクを挿入してください。」というメッセージが表示された場合は、[キャンセル] をクリックします。「取り消しますか？」というメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。「インストールは中断されました。」のメッセージが表示されますので、[閉じる] をクリックして、ソフトウェアをアンインストール後、もう一度インストールを実施してください。
- 日本語版、中国語版の本ソフトウェアを各々の言語以外の OS にインストールすると、フォントが正常に表示できない場合があります。

アンインストールの方法

1. 次の操作を行ってください。
   - Windows 8 の場合

     キーボードの [Windows ロゴ] を押しながら [X] を押して、[コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] から［Logo Transfer Software］を選択して［アンインストール］をクリックします。
   - Windows 7 の場合

     ［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムのアンインストール］から［Logo Transfer Software］を選択して［アンインストール］をクリックします。
   - Windows Vista、Windows XP の場合

     ［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］から［Logo Transfer Software］を選択して［削除］をクリックします。

2. 画面の指示に従ってアンインストールしてください。

ソフトウェアを起動する

デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリック、または［スタート］→［Panasonic］→［Logo Transfer Software］→［Logo Transfer Software］を選択します。
スプラッシュウインドウの表示後、接続先の選択画面が表示されます。

お知らせ

本ソフトウェアで接続操作を行うと、実行ファイルと同じフォルダーに、設定した値を自動記録するための「Logo Transfer Software.ini」というファイルが自動的に作成されます。
データは接続操作ごとに更新され、最後に行った接続操作設定情報で上書きされます。
このファイルを削除した場合は、前回の設定記録は消えますが、次回ソフトウェア起動後の接続操作時に新たに自動で作成されます。

プロジェクターと接続する

お使いのコンピューターからロゴデータの転送を行うために、コンピューターとプロジェクターを接続する必要があります。

接続にはシリアル（RS-232C）接続、LAN 接続の 2 通りの方法があります。

お知らせ

- プロジェクターの機種によってはシリアル（RS-232C）接続の 1 通りの方法しかできないプロジェクターもあります。プロジェクターの付属品に本ソフトウェアの CD-ROM がある場合は、CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。また最新の情報は、弊社 WEB サイト（http://panasonic.biz/projector/）の「対応プロジェクター機種一覧表」を確認してください。
- コンピューターとプロジェクターが接続されていない場合は、本ソフトウェアは接続先の選択画面より先に進みません。
- 接続するプロジェクターの通信条件や LAN の設定などの情報については、プロジェクターの取扱説明書を参考にお調べください。

シリアル（RS-232C）での接続方法

1. 準備
   D-Sub9pin のケーブルでコンピューターとプロジェクターのシリアル（RS-232C）IN 端子を接続してください。

お知らせ

- プロジェクターの機種によってシリアル（RS-232C）IN 端子の名称は異なります。
- 使用可能なケーブルの種類については、プロジェクターの取扱説明書をご確認ください。

2. 設定
   図 1、2 のように、接続するプロジェクターによって、設定を行う項目が異なります。
   接続先のプロジェクターを選択して、選択ができる項目の設定を行ってください。

≪図 1 ≫

シリアル（RS-232C）での接続方法 (つづき)

≪図２≫

① システムメニュー

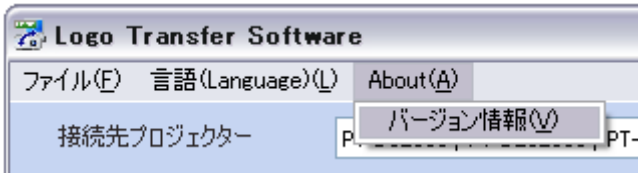
・ファイル→終了
本ソフトウェアを終了します。

・言語 (Language) → English
本ソフトウェアの表示言語を
英語に切り替えます。

・言語 (Language) →日本語
本ソフトウェアの表示言語を
日本語に切り替えます。

・言語 (Language) →中文
本ソフトウェアの表示言語を
中国語に切り替えます。

・About →バージョン情報
本ソフトウェアのバージョン
を表示します。



お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いのコンピューターの使用言語で表示されます。

シリアル（RS-232C）での接続方法（つづき）

② 接続先プロジェクター
接続するプロジェクターの機種名を選択します。

選択したプロジェクターによって、以下③～⑦のうち設定不要な項目は、非表示または選択不可になります。

③ シリアル設定ラジオボタン
プロジェクターとの接続方法としてシリアル (RS-232C) での接続か、LAN での接続（→ 12 ページ）かを選択できます。
ここでは、［シリアル設定］を選択します。

④ プロジェクター ID
接続するプロジェクターに設定している ID ナンバーを指定します。
ALL および 1 ～ 64 から選択します。

⑤ ポート
プロジェクターとの接続に使用しているコンピューターの COM ポートの番号を選択します。

⑥ 通信速度
プロジェクターに設定されているシリアル（RS-232C）の通信速度を選択してください。

⑦ パリティ
接続するプロジェクターに設定しているシリアル（RS-232C）のパリティを選択してください。

⑧ 終了
本ソフトウェアを終了します。

⑨ OK
入力した設定で、プロジェクターと接続します。

3. プロジェクターの接続完了
②～⑦までの設定が完了し、⑨でプロジェクターとの接続が成立すると、ロゴデータの生成方法を選択する画面が表示されます。（→ 15 ページに進んでください）

LAN での接続方法

1. 準備する
   コンピューターとプロジェクターを直接 LAN ケーブルで接続する場合はクロスの LAN ケーブルで接続してください。それ以外の場合（HUB で中継している場合など）はストレートの LAN ケーブルで接続してください。

2. ネットワークの設定
   プロジェクターと接続するコンピューターのネットワーク設定を行ってください。
   （詳しくはネットワーク管理者に確認してください。）

3. 設定
   接続するプロジェクターのネットワーク設定を確認し、IP アドレス、ポート、アカウントおよびパスワードを設定してください。

お知らせ

プロジェクターの［ネットワーク］メニューにある［ネットワークコントロール］もしくは［コマンドコントロール］は ON にしておいてください。
OFF になっていると接続できません。

LAN での接続方法（つづき）

① システムメニュー

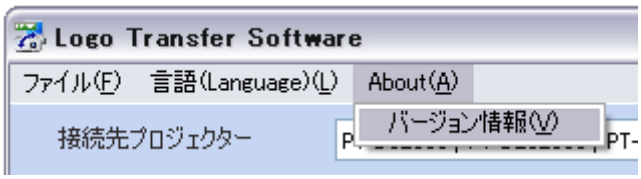
・ファイル→終了
本ソフトウェアを終了します。

・言語 (Language) → English
本ソフトウェアの表示言語を
英語に切り替えます。

・言語 (Language) →日本語
本ソフトウェアの表示言語を
日本語に切り替えます。

・言語 (Language) →中文
本ソフトウェアの表示言語を
中国語に切り替えます。

・About →バージョン情報
本ソフトウェアのバージョン
を表示します。



お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いのコンピューターの使用言語で表示されます。

② 接続先プロジェクター
接続するプロジェクターの機種名を選択します。

選択したプロジェクターによって、以下③～⑦のうち設定不要な項目は、非表示または選択不可になります。

③ LAN 設定ラジオボタン
プロジェクターとの接続方法として LAN での接続かシリアルでの接続 (→ 9 ページ) かを選択します。ここでは［LAN 設定］を選択します。

④ IP アドレス
接続するプロジェクターに設定されている IP アドレスを入力します。

⑤ ポート
接続するプロジェクターに設定されているコマンドポート番号を入力します。

⑥ アカウント名
接続するプロジェクターに設定されているアカウント名を入力します。

⑦ パスワード
接続するプロジェクターに設定されているパスワードを入力します。

お知らせ

- プロジェクターに設定している IP アドレス、コマンドポート番号はプロジェクターのオンスクリーンメニューまたはネットワーク機能の WEB コントロール（WEB 制御）の詳細設定画面から確認することができます。
- プロジェクターに設定しているアカウント名・パスワードは、ネットワーク機能の WEB コントロール（WEB 制御）で設定したアドミニストレーター権限のアカウント名・パスワードになります。
- 接続するプロジェクターの機種によってはアカウント名は固定になります。

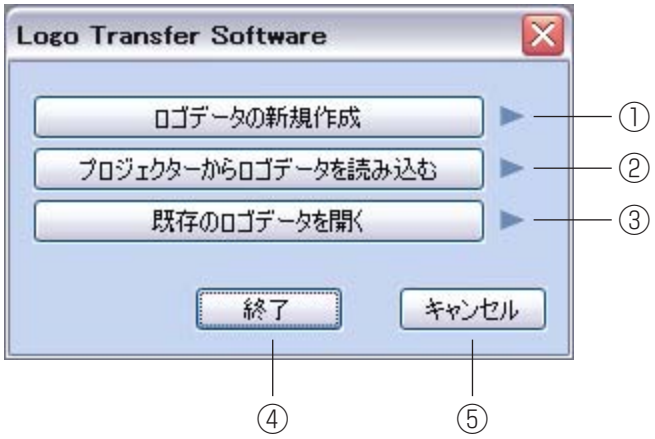
⑧ 終了
本ソフトウェアを終了します。

⑨ OK
入力した設定で、プロジェクターと接続します。

4. プロジェクターの接続完了
②～⑦までの設定が完了し、⑨でプロジェクターとの接続が成立すると、ロゴデータの生成方法を選択する画面が表示されます。（→ 15 ページに進んでください）

ロゴデータの生成方法を選択する

コンピューターとプロジェクターの接続が成立すると、下図の画面が表示されます。
目的に応じて生成方法を選択してください。



① ロゴデータの新規作成
お使いのコンピューターに保存されているビットマップを使用してロゴデータを作成します。（→ 16 ページ）

② プロジェクターからロゴデータを読み込む
プロジェクターに登録されているロゴデータを使用してロゴデータを生成します。（→ 17 ページ）

お知らせ

接続したプロジェクターおよびプロジェクターとの接続方法によっては、この機能は使用できません。

③ 既存のロゴデータを開く
すでに一度作成した、お使いのコンピューターに保存されているロゴデータを使用してロゴデータを生成します。（→ 17 ページ）

④ 終了
本ソフトウェアを終了します。

⑤ キャンセル
接続先選択画面に戻ります。

ロゴデータの新規作成

「ロゴデータの新規作成」を選択すると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

ロゴデータに使用したいビットマップを選択してください。ファイルを読み込み後、
ロゴデータを編集する画面が表示されます。（→ 18 ページ）

お知らせ

- ロゴデータに使用できるファイルはビットマップ形式のみが対象となります。
- ロゴデータに使用できるビットマップの画素サイズは、接続中のプロジェクターにより異なります。
- ロゴデータに使用できる色数は、接続中のプロジェクターにより異なります。
  使用できる色数を超えている場合は、本ソフトウェア内部で自動的に減色されます。

ご使用のプロジェクターにより本ソフトウェアの制約事項が異なります。
プロジェクターの付属品に本ソフトウェアの CD-ROM がある場合は、CD-ROM 内のアプリケーションランチャーにある「対応プロジェクター機種一覧表」をご覧ください。また最新の情報は、弊社 WEB サイト（http://panasonic.biz/projector/）の「対応プロジェクター機種一覧表」を確認してください。

プロジェクターからロゴデータを読み込む

「プロジェクターからロゴデータを読み込む」を選択すると下図の画面が表示されます。
読み込みを行うロゴを選択後、「OK」ボタンをクリックしてください。

① プロジェクターロゴデータの選択
読み込みを行うロゴデータを指定します。

お知らせ

- ご使用のプロジェクターにより、ロゴデータが登録される場所が 1 つの場合はロゴの選択は不要です。「OK」ボタンをクリックしてください。
- プロジェクターによりロゴデータの読み込みに時間がかかる場合があります。

② OK
指定されたロゴデータを読み込みます。ロゴデータを読み込み後、ロゴデータを編集する画面が表示されます。（→ 18 ページ）

③ キャンセル
ロゴデータの生成方法を選択する画面に戻ります。

既存のロゴデータを開く

「既存のロゴデータを開く」を選択すると、［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されますので開きたいファイル（.dat）を選択してください。

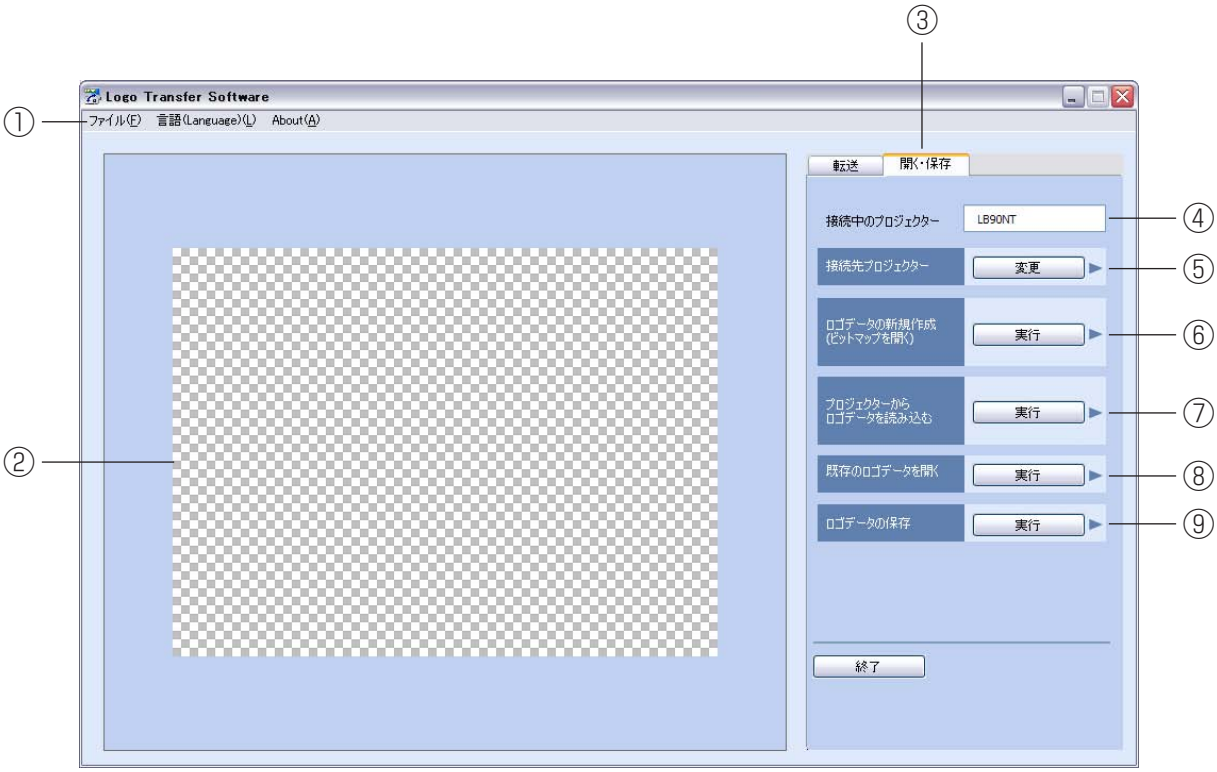
ファイルを読み込み後、ロゴデータを編集する画面が表示されます。（→ 18 ページ）

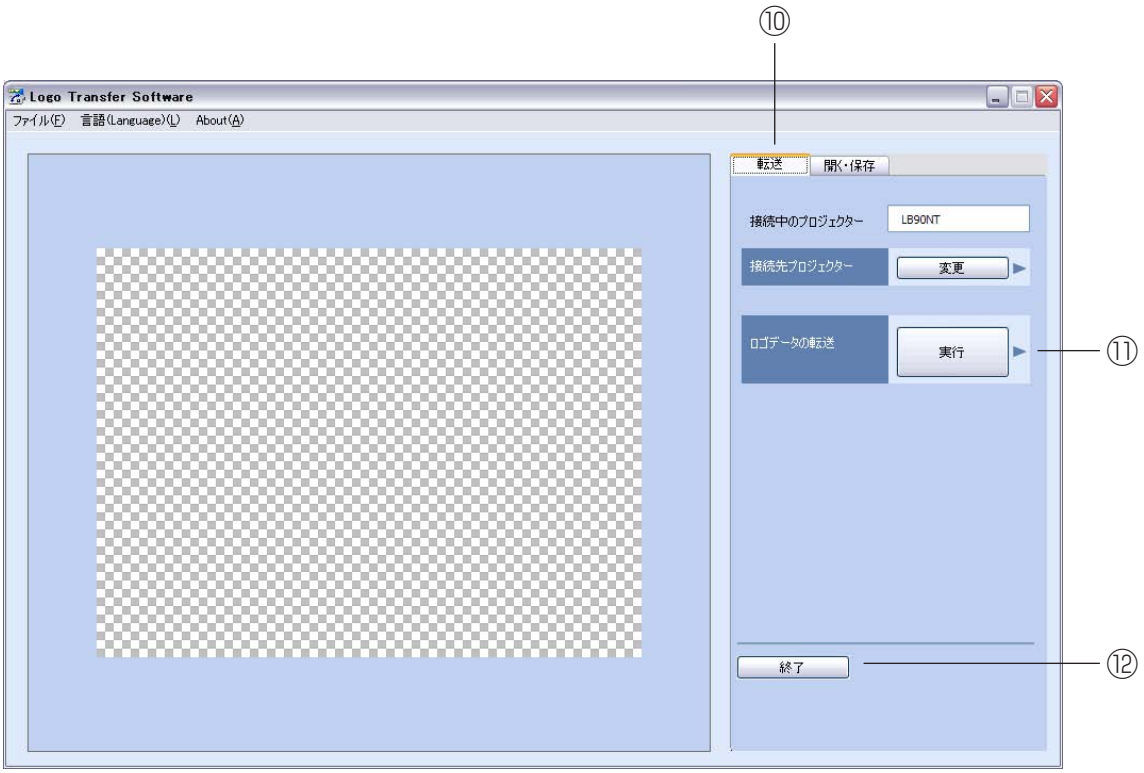
ロゴデータを編集する

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合には、ロゴデータの拡大、表示位置の変更、背景色、透過色の設定ができます。ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクターの場合には、ビットマップで読み込んだロゴデータをそのまま転送することになります。

※ ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合は 21 ページに進んでください。

ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクターの場合





ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクターの場合（つづき）

① システムメニュー

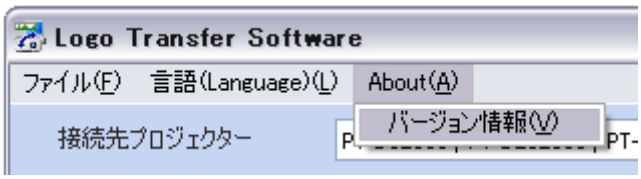
・ファイル→終了
本ソフトウェアを終了します。

・言語 (Language) → English
本ソフトウェアの表示言語を
英語に切り替えます。

・言語 (Language) →日本語
本ソフトウェアの表示言語を
日本語に切り替えます。

・言語 (Language) →中文
本ソフトウェアの表示言語を
中国語に切り替えます。

・About →バージョン情報
本ソフトウェアのバージョン
を表示します。



お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いのコンピューターの使用言語で表示されます。

② プレビュースクリーン
接続中のプロジェクターに投写する画面と同じように、実際のロゴの表示状態を縮小イメージにて表示します。

③ 開く・保存
ロゴデータの読み出し・保存をするためのメニューを表示します。

④ 接続中のプロジェクター
現在接続中のプロジェクター機種名が表示されます。

⑤ 接続先プロジェクターの変更
接続するプロジェクターを変更します。（→ 27 ページ）

ロゴデータの拡大や編集ができないプロジェクターの場合（つづき）

⑥ ロゴデータの新規作成
ビットマップを新たに読み込みます。（→ 16 ページ）

⑦ プロジェクターからロゴデータを読み込む
プロジェクターに登録されているロゴデータを読み込みます。（→ 17 ページ）

⑧ 既存のロゴデータを開く
コンピューターに保存されているロゴデータを読み込みます。（→ 17 ページ）

お知らせ

⑥⑦⑧の操作でデータを読み込むと現在表示中のロゴデータは破棄されます。
すでにプレビュースクリーンに表示がされていて保存が必要な場合は、⑥⑦⑧の操作を行う前にロゴデータの保存を行ってください。

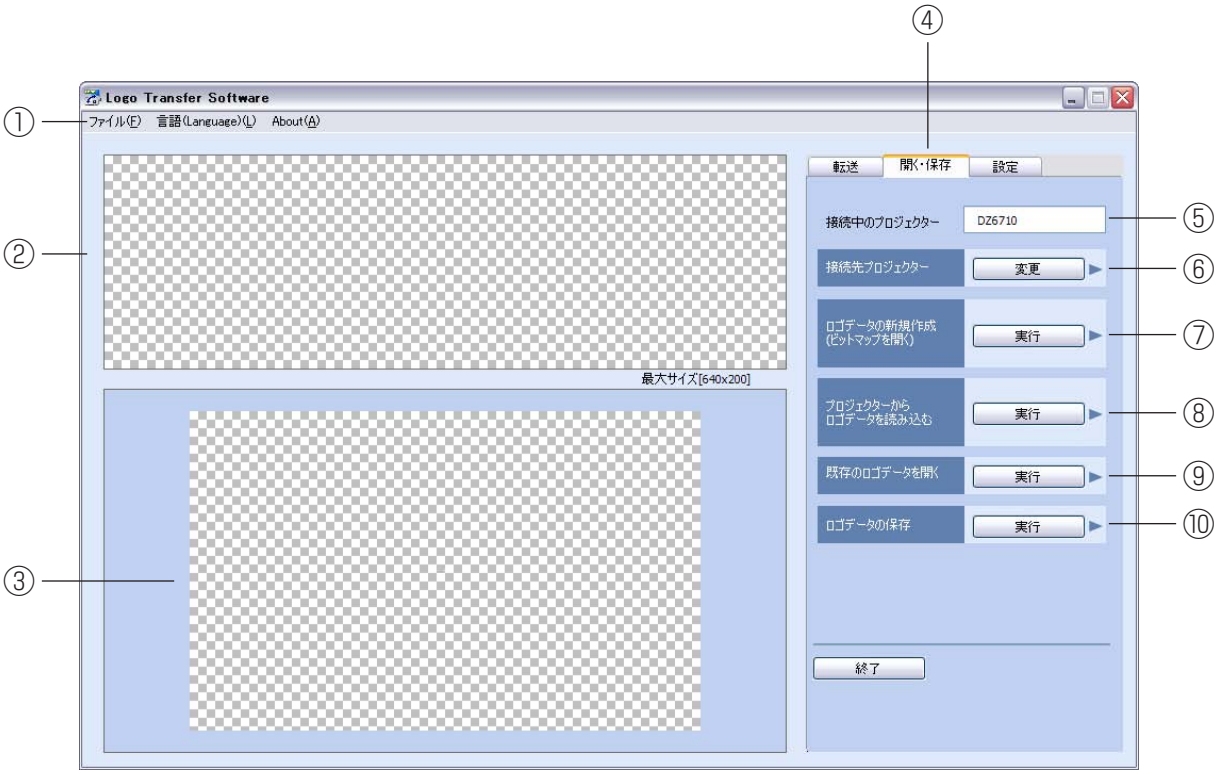
⑨ ロゴデータの保存
ロゴデータをコンピューターに保存します。（→ 26 ページ）

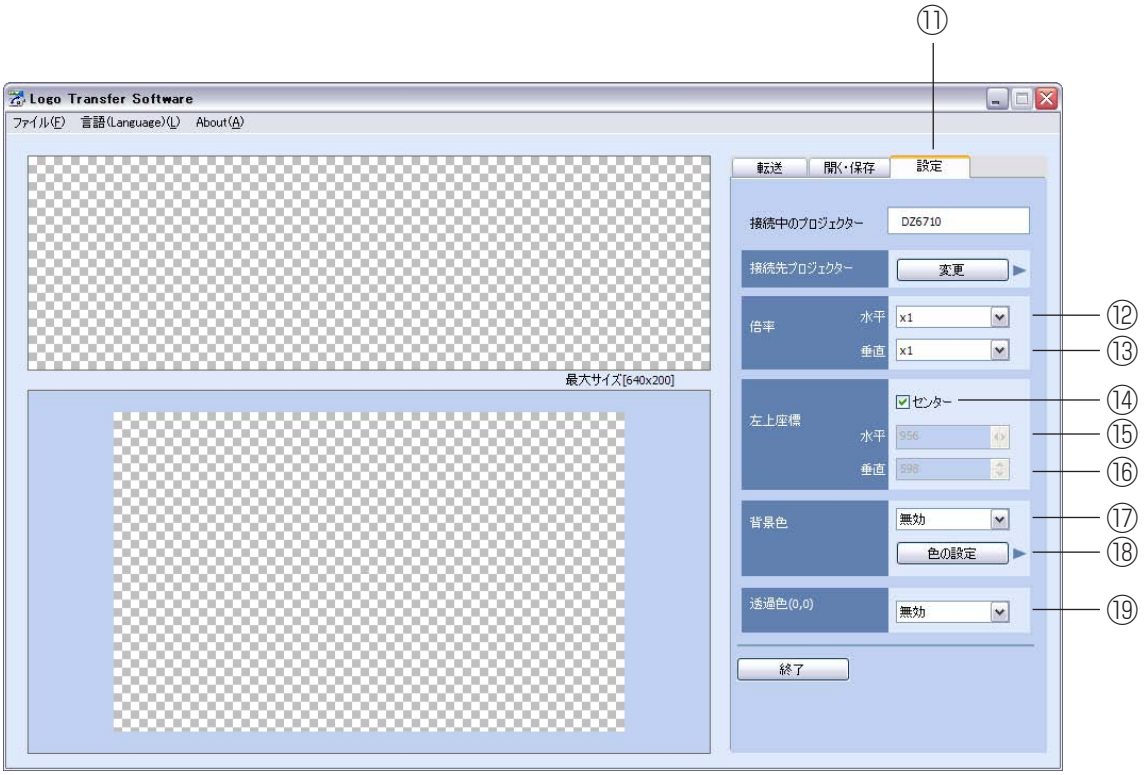
⑩ 転送
ロゴデータをプロジェクターに転送するメニューを表示します。

⑪ ロゴデータ転送
プレビュースクリーンで表示されているイメージで、ロゴデータをプロジェクターに転送します。（→ 26 ページ）

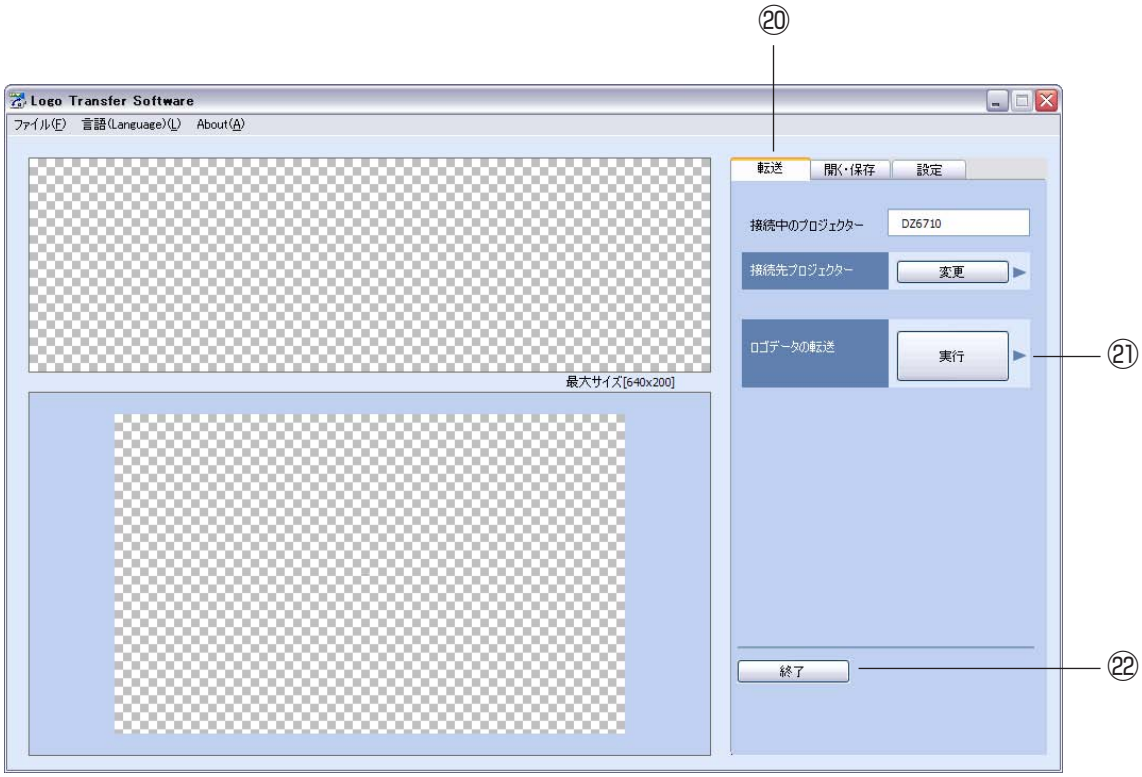
⑫ 終了
本ソフトウェアを終了します。

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合





ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合（つづき）



① システムメニュー

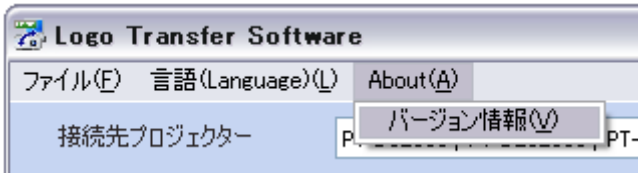
- ファイル→終了
  本ソフトウェアを終了します。

- 言語 (Language) → English
  本ソフトウェアの表示言語を
  英語に切り替えます。

- 言語 (Language) →日本語
  本ソフトウェアの表示言語を
  日本語に切り替えます。

- 言語 (Language) →中文
  本ソフトウェアの表示言語を
  中国語に切り替えます。

- About →バージョン情報
  本ソフトウェアのバージョン
  を表示します。



お知らせ

「ファイルを開く」など一部の画面のメッセージは、言語設定にかかわらず、お使いのコンピューターの使用言語で表示されます。

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合（つづき）

② ビットマップスクリーン
読み込んだロゴデータを表示します。

お知らせ

接続したプロジェクターによっては、ビットマップスクリーンは表示されません。

③ プレビュースクリーン
接続中のプロジェクターに投写する画面と同じように、実際のロゴの表示状態を縮小イメージにて表示します。

④ 開く・保存
ロゴデータの読み出し・保存をするためのメニューを表示します。

⑤ 接続中のプロジェクター
現在接続中のプロジェクター機種名が表示されます。

⑥ 接続先プロジェクターの変更
接続するプロジェクターを変更します。（→ 27 ページ）

⑦ ロゴデータの新規作成
ビットマップを新たに読み込みます。（→ 16 ページ）

⑧ プロジェクターからロゴデータを読み込む
プロジェクターに登録されているロゴデータを読み込みます。（→ 17 ページ）

お知らせ

接続したプロジェクターおよびプロジェクターとの接続方法によっては、この機能はご使用できません。

⑨ 既存のロゴデータを開く
コンピューターに保存されているロゴデータを読み込みます。（→ 17 ページ）

お知らせ

⑦⑧⑨の操作でデータを読み込むと現在表示中のロゴデータは破棄されます。
すでにプレビュースクリーンに表示がされていて保存が必要な場合は、⑦⑧⑨の操作を行う前にロゴデータの保存を行ってください。

⑩ ロゴデータの保存
ロゴデータをコンピューターに保存します。（→ 26 ページ）

⑪ 設定
読み出したロゴデータの編集・設定を行うメニューを表示します。

ロゴデータの拡大や編集ができるプロジェクターの場合（つづき）

⑫ 倍率設定（水平）
ロゴデータがスクリーンからはみ出さない大きさまでサイズを変更できます。
選択可能な倍率は×１，×２，×４，×８です。

お知らせ

- サイズを変更すると表示位置がセンター位置になります。
- 接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑬ 倍率設定（垂直）
ロゴデータがスクリーンからはみ出さない大きさまでサイズを変更できます。
選択可能な倍率は×１，×２，×４，×８です。

お知らせ

- サイズを変更すると表示位置がセンター位置になります。
- 接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑭ センターチェックボックス
ロゴデータをスクリーンセンターに配置します。

お知らせ

- センター以外の位置に移動する場合はチェックを外してください。
- 接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑮ 表示位置（水平）
ロゴデータがスクリーンからはみ出さない位置までの間でロゴデータの位置を移動することができます。

お知らせ

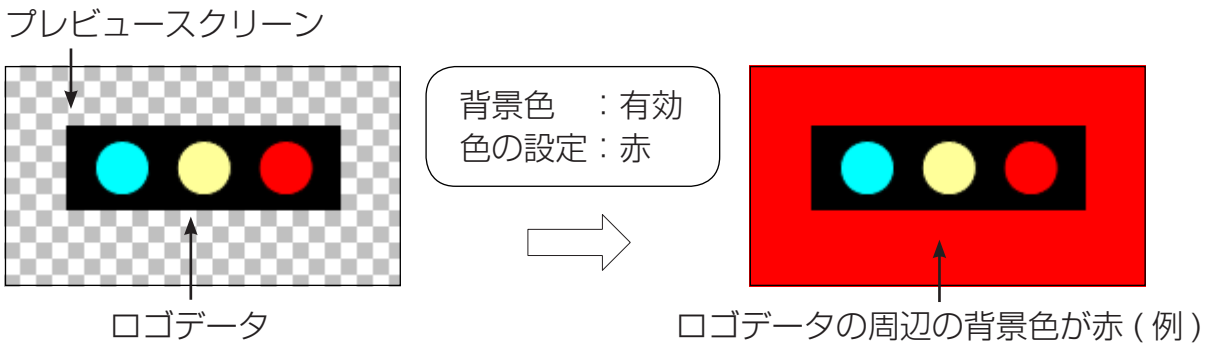
接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑯ 表示位置（垂直）
ロゴデータがスクリーンからはみ出さない位置までの間でロゴデータの位置を移動することができます。

お知らせ

接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑰ 背景色
ロゴデータ周辺の背景色の有効・無効を選択します。

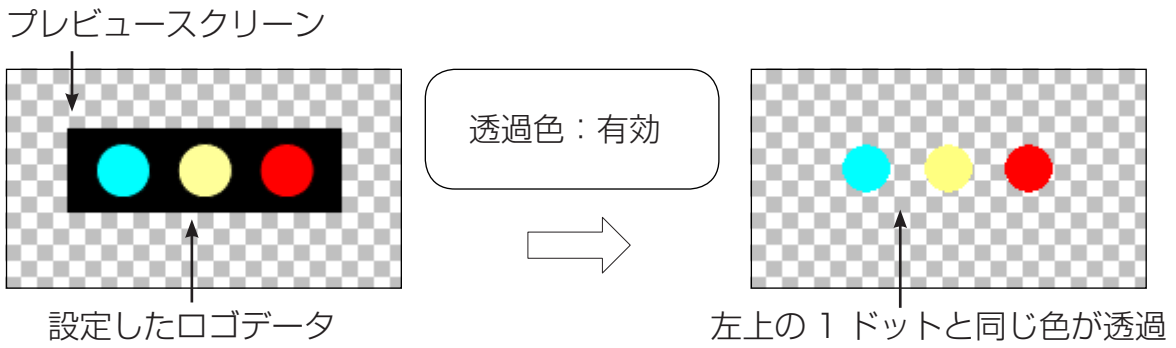


お知らせ
接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑱ 色の設定ボタン
背景色に使用する色を設定します。OS 標準の「色の設定」ダイアログボックスが表示されます。

お知らせ
接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

⑲ 透過色
ロゴデータの左上の 1 ドットの色を透過色に設定することで、
ロゴデータ内の透過色に設定した色以外の部分を表示することができます。



お知らせ
接続したプロジェクターによっては、この機能は使用できません。

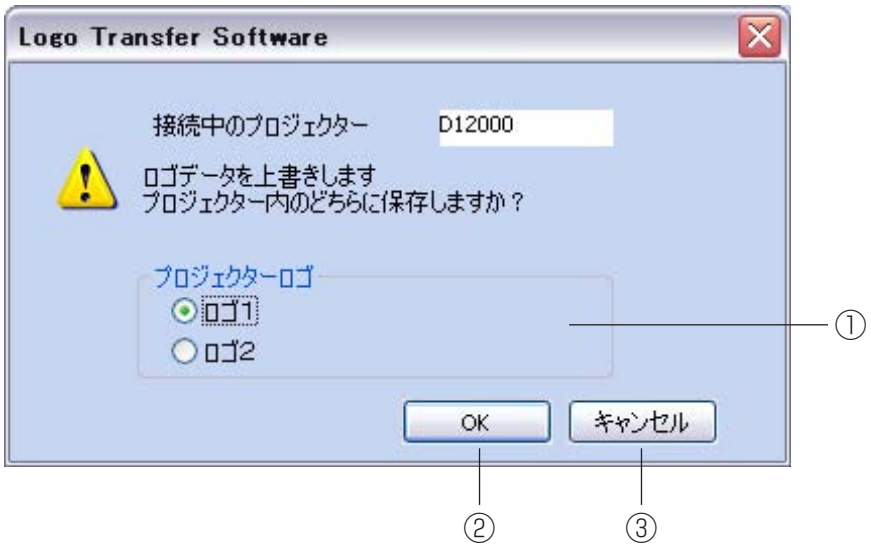
⑳ 転送
ロゴデータをプロジェクターに転送するメニューを表示します。

㉑ ロゴデータ転送
プレビュースクリーンで表示されているイメージで、ロゴデータをプロジェクターに転送します。（→ 26 ページ）

㉒ 終了
本ソフトウェアを終了します。

ロゴデータを転送する

「ロゴデータの転送」を実行すると下図の画面が表示されます。



① プロジェクターロゴの選択
転送を行うロゴデータを指定します。

お知らせ

- ご使用のプロジェクターにより、ロゴデータが登録される場所が 1 つの場合はロゴの選択は不要です。「OK」ボタンをクリックしてください。
- プロジェクターによりロゴデータの転送に時間がかかる場合があります。

② OK
指定されたロゴデータを転送します。ロゴデータを転送後、ロゴデータを編集する画面が表示されます。（→ 18 ページ）

③ キャンセル
ロゴデータを編集する画面に戻ります。

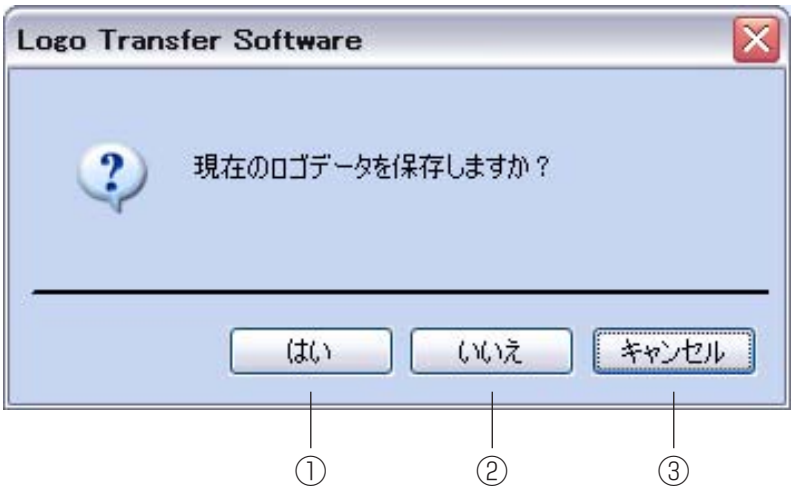
ロゴデータを保存する

［ロゴデータの保存］を実行すると、［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されますので、ファイル名を付けて保存してください。

接続先プロジェクターを変更する

現在接続中のプロジェクターとは異なるプロジェクターに続けて接続する場合は接続先プロジェクターの変更が必要です。

ロゴデータの編集作業を実施している場合は下図のような保存確認画面が表示されます。



①はい
ロゴデータを保存します。ロゴデータの保存完了後、接続先選択画面が表示されます。

②いいえ
ロゴデータの保存をせずに、接続先選択画面に戻ります。

③キャンセル
プロジェクターの変更をキャンセルし、ロゴデータを編集する画面に戻ります。

接続先選択画面

プロジェクターの変更を選択すると接続先選択画面が表示されます。
「プロジェクターと接続する」（→８ページ）に戻り、新しい接続先のプロジェクター機種を選択し、設定してください。

お知らせ

キャンセルボタンをクリックするとロゴデータを編集する画面に戻ります。

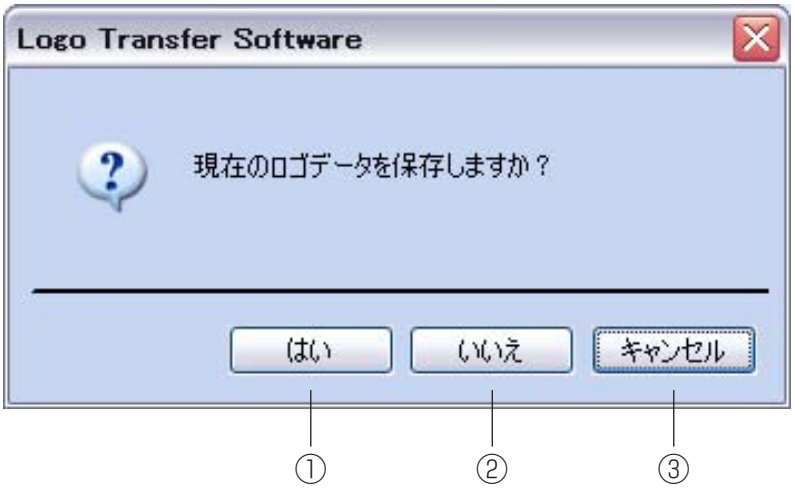
ソフトウェアを終了する

本ソフトウェアを終了します。

ロゴデータの編集作業を実施している場合は下図の確認画面が表示されます。

お知らせ

ロゴデータの編集作業を実施していない場合は、下図の確認画面は表示されずにそのまま終了します。



① はい
ロゴデータを保存します。
ロゴデータの保存完了後、本ソフトウェアを終了します。

② いいえ
ロゴデータを保存せずに、本ソフトウェアを終了します。

③ キャンセル
終了をキャンセルし、ロゴデータを編集する画面に戻ります。

エラーメッセージ一覧

本ソフトウェアのエラーメッセージとその対策方法を以下に示します。

エラー番号／メッセージ	ERROR:1 ／未接続
メッセージの内容	プロジェクターとコンピューター間の通信ができません。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. コンピューターとプロジェクターは正しく接続されていますか？ 2. コンピューターとプロジェクターのシリアル設定は一致していますか？ もしくは LAN 設定は正しいですか？ 3. プロジェクター ID は接続中のプロジェクターと一致していますか？ 4. LAN 接続の場合は、ファイアウォールの設定が正しくされていますか？ 5. 他のアプリケーションが指定された COM ポートを使用していませんか？ 6. ロゴ転送を再度実施したときにこのエラーが表示された場合は、 プロジェクター本体側の主電源をオフ / オンをし、再度プロジェクターに 接続もしくはロゴ転送を実施してください。 ※ プロジェクターとの接続方法については、「プロジェクターと接続する」 (8 ページ) を参照してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:2 ／このプロジェクターには対応していません
メッセージの内容	接続中のプロジェクターは対応機種ではありません。
ご確認ください	接続中のプロジェクターは、本ソフトウェアの対応機種ですか？ 別紙対応プロジェクター機種一覧表をお調べください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:3 ／このファイルには対応していません
メッセージの内容	無効なファイルを選択しました。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. ビットマップ形式のファイルですか？ 2. 選択したファイルが、本ソフトウェアで作成したロゴデータのファイルで すか？

エラー番号／メッセージ	ERROR:4 ／このサイズには対応していません
メッセージの内容	対応していないサイズのビットマップが指定されました。
ご確認ください	ビットマップの大きさを確認してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:5 ／ビットマップのサイズが 1024 × 768 ではありません
メッセージの内容	対応していないサイズのビットマップが指定されました。
ご確認ください	ビットマップの大きさを確認してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:6 ／ビットマップのサイズが 1280 × 800 ではありません
メッセージの内容	対応していないサイズのビットマップが指定されました。
ご確認ください	ビットマップの大きさを確認してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:7 ／プロジェクターがスタンバイではありません
メッセージの内容	プロジェクターの電源が ON になっています。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. プロジェクターの電源が OFF になっていますか？ 2. プロジェクターのファンの回転が停止していますか？ 3. お使いのプロジェクターは、本アプリケーションの対応機種ですか？

エラーメッセージ一覧 (つづき)

エラー番号／メッセージ	ERROR:8 ／書き込みに失敗しました
メッセージの内容	ファイルの保存に失敗しました。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. 保存を行うドライブの空き容量は十分ですか？ 2. 保存を行うフォルダー／ファイルに対するアクセス権限はありますか？

エラー番号／メッセージ	ERROR:9 ／転送に失敗しました
メッセージの内容	プロジェクターへの転送が終了していません。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. コンピューターとプロジェクターは正しく接続されていますか？ 2. 本ソフトウェアでコンピューターとプロジェクターを接続後、プロジェクターのシリアル設定もしくは LAN 設定を変更していませんか？ 3. プロジェクターのスタンバイモードが［エコ］に設定されていませんか？［エコ］に設定されている場合、LAN 経由でロゴデータを転送することができません。スタンバイモードの設定を変更してください。 4. 転送中にプロジェクター本体側の電源操作を行いませんでしたか？ 5. お使いのコンピューターが省電力状態に移行しませんでしたか？ 6. お使いのコンピューターにおいてログオフ、ユーザーの切り替え、シャットダウンの操作を実行しませんでしたか？ 上記項目を確認後、問題がないようでしたら、再度ロゴ転送を実施してください。再度 ERROR1/ERROR9 が表示される場合はプロジェクター本体の主電源をオフ / オンをし、ロゴ転送を実施してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:10 ／アカウント名もしくはパスワードが違います
メッセージの内容	入力されたアカウント名もしくはパスワードが、プロジェクターに設定されているものと異なります。
ご確認ください	正しいアカウント名とパスワードを入力してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:11 ／プロジェクターがビジーです
メッセージの内容	プロジェクターからの応答がありません。
ご確認ください	時間をおいてから再度操作してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:12 ／プロジェクターの機種が異なります
メッセージの内容	接続確認を行ったときに接続されていたプロジェクターと異なっています。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1. コンピューターとプロジェクターは正しく接続されていますか？ 2. プロジェクターのシリアル設定もしくは LAN 設定は接続確認時から変更していませんか？ 3. プロジェクター ID は接続中のプロジェクターと一致していますか？

エラー番号／メッセージ	ERROR:13 ／プロジェクターのセキュリティーが有効になっています
メッセージの内容	プロジェクターのセキュリティー設定が有効になっています。
ご確認ください	セキュリティー設定を無効に変更してください。

エラーメッセージ一覧 (つづき)

エラー番号／メッセージ	ERROR:14 ／プロジェクターのスタンバイモードがエコになっています
メッセージの内容	プロジェクターのスタンバイモードが［エコ］に設定されています。
ご確認ください	スタンバイモードが［エコ］に設定されている場合、シリアル（RS-232C）通信でロゴデータを転送することができません。スタンバイモードの設定を変更してください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:15 ／このプロジェクターのファームウエアバージョンには対応していません
メッセージの内容	対応していないファームウエアバージョンです。
ご確認ください	販売店にご相談ください。

エラー番号／メッセージ	ERROR:16 ／ロゴが存在しません
メッセージの内容	プロジェクターから読み込んだロゴにデータが存在しません。 登録されていないロゴデータを読み出すことはできません。
ご確認ください	ロゴデータの読み込み元の指定は正しいですか？

エラー番号／メッセージ	ERROR:17 ／ ini ファイルの書き込みに失敗しました
メッセージの内容	Logo Transfer Software.ini ファイルの保存に失敗しました。
ご確認ください	以下の項目を確認してください。 1.　保存を行うドライブの空き容量は十分ですか？ 2.　保存を行うフォルダー／ファイルに対するアクセス権限はありますか？

エラー番号／メッセージ	ERROR:18 ／プロジェクターのスタンバイモードがノーマルになっていません
メッセージの内容	プロジェクターのスタンバイモードが［ノーマル］以外に設定されています。
ご確認ください	スタンバイモードが［ノーマル］に設定されていない場合、ロゴデータを転送することができません。スタンバイモードの設定を[ノーマル]に変更してください。

お知らせ

Logo Transfer Software.ini ファイル：
このソフトウェアで設定した値を自動的にコンピューターに保存するファイルです。

困ったとき

もう一度次の点をお調べください。

本ソフトウェアをアンインストール、またはアップデートする際にメッセージが表示される
<「警告 1910。ショートカット ...」というメッセージが表示されていませんか> Windows8 搭載コンピューターに NVIDIA 社提供のドライバを入れていると、以下のメッセージが表示されることがあります。   「OK」ボタンをクリックすると、アンインストールおよびアップデート作業が継続されます。 本ソフトウェアをアンインストールした場合、デスクトップ上のショートカットアイコンが消えますが、次回コンピューター起動時に再度作成されますので、手動で削除してください。

商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではⓇや TM マークは明記していません。

ご注意

- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

お電話の方はこちら　0120-872-601

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）

9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00

URL：http://panasonic.biz/projector/

※ 書面や電話／ FAX を使用しお答えする場合や、返事をさしあげるお時間をいただくこともございます。

※ お電話いただく際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号　　電話 0120-872-601

© Panasonic Corporation 2011

M1111NS4113 -YI